



3月 園だより



平成29年 3月 1日

しぜんの国保育園

<http://www.toukoukai.org>

保育理念

『いきいき』

基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどもたちのたからもの」を大切にします』

『地域で安心して子育てができるように!』

『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』

今月の主題

『ふくらむ心に夢の花』

3月は春まっさかり。様々な花が咲き、自然(しぜん)の野山(のやま)が美しい緑の色となる時です。

人もまた、一緒にさくよるこびをかんずるよいきせつです。

大地(だいち)にしっかり足(あし)をつけて、ともにあるいてきた一日一日を大切におもいだしながら、さらに一歩(いっぽ)前(まえ)に進む勇気をもつくぎりの月です。

一年(いちねん)よくがんばってきたね。もう大丈夫(だいじょうぶ)。あたらしいであいにむけてがんばっていこうね。自分(じぶん)に拍手(はくしゅ)。友達(ともだち)に拍手。

理事長 齋藤 謹也

〇3月11日(土) 第38回卒園式を行います。けやきくみさん、ご卒園おめでとうございます。

残り約一ヶ月、たくさんの楽しい時間を過ごしていきたいと思います!

〇3月下旬より、各クラスとも進級に伴っての移行期間に入ります。クラスが変わることで、不安な気持ちになるお子さまもいるかと思えます。保育園でも充分に配慮して進めてまいります。お子さまの様子で気になることがありましたら、お気軽に職員にお声をおかけ下さい。また、移行に関するお知らせはクラスだよりや日々の掲示板等で、ご確認をお願い申し上げます。

〇東京・立川の集団食中毒の原因が、「きざみのり」だったという報道がありました。現在園で使っている「のり」のメーカーとは異なりました。今後も情報に留意しながら、安全が確認できるまで「のり」の使用は致しません。(なお配布されている献立にはのりの記載がございますがご了承ください)

3月の予定

月	火	水	木	金	土
		1 小さな連弾 音楽会	2 0歳遠足	3 ひなまつり 誕生会	4
6 文字遊び	7 自然体育 キッズリー 説明会	8 卒園式予行	9 1.2歳遠足	10 終業式	11 卒園式
13	14 オトキャッチ	15 ダンスWS	16 けやき組と 楽しむ会	17	18
20	21	22	23	24 けやき組を囲む会(保護 者同伴イベント)	25
27	28				

〇メール送信サービスが、スクールアイネットから、『キッズリー』に変更されます。お休み連絡がメールで出来たり、不定期ですが園の情報を写真付きでお届けできたりする予定です。メールの不達解消、個人メールアドレスの変更時の手続きなどもなくなり、また園の様子、保育もご家庭で共有しやすいシステムになると思います。(パンフレットを配布しますが、こちらに記載されている全てのシステムを使うわけではありませんのでご了承ください)また、質問事項などございましたら同封の用紙にご記入の上、園の赤いポストに入れて下さい。後日、キッズリーの担当者より返答をさせていただきます。また、3/7 16:00より使い方の説明会をしたいと思いますので、ぜひご参加ください。ご協力よろしくお願いします。

今、教育関係のニュースが増えています。大学進学の方角性がガラリと変わることを枠切りに、学習指導要領の改訂が行われ、「アクティブ・ラーニング」や「カリキュラム・マネジメント」などの言葉が溢れ出し、小学校からのプログラミングや英語授業が増えると公表されています。

〇~6歳までの環境も変化しています。段階的ではありますが、幼児教育の無償化も計画的に進んでいますし、平成30年度(来年の4月ですね)には、「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が改訂されます。3つもあって覚えにくいですが、じきに統合されていくと思います。

つまり、幼稚園も保育園もこども園も変わりがなくなっていくのでしょうか。その証拠に、この3つの指針・要領の改訂後の内容は、かなり酷似しているものだからです。

具体的に、幼稚園には、乳児0、1、2歳の保育計画の重要性を、保育園には3、4、5歳の教育の重要性を強調している内容です。また、小学校との連携も押し出されていますが、小学校へ上がるまでに育て欲しい姿を明確にしています。

保育の中で<表現、環境、健康、言葉、人間関係>を基本要素として、私たち保育者は”5領域”と呼んでおりますが、これからの保育・教育で目指すべきものは「非認知的能力」の獲得です。人知的能力は、文字を読むとか書くとか、計算ができるとか、能力獲得への認知がしやすいものですが、自尊心の向上や自己制御、忍耐力、対人関係などの数値化しにくい要素こそ、人の生涯の学びの基礎となり人生に大きな影響を与えるという国際レポートが出されており、小学校へ向けてこの非認知的能力を育み連携せよとの方針を国が定めたのだと理解しています。(ちなみに認知的能力は、はやく獲得したところで人生への直接の影響は、ないという調査結果が出ています。)

国からの方針に、早期詰め込み教育ではない方針を明確化されたのは、個人的に大きく賛同しています。ただ、細かい箇所では受け入れがたい文言も多いのですが・・・ぜひ、厚生労働省のホームページで、指針の雛形が上がっているのでみなさんも確認してみてください。

園長 齋藤 純良